

## ●JAFIC 漁業情報研究会の開催実績（2018.8.24 現在）

### 第1回：今年のカツオ漁況動向をさぐる

と き：2009年6月3日 参加者：47人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・二平 章（茨城大）日本近海に來遊するカツオの生物特性（レビュー）
- ・石井光廣（千葉水試）ひき縄漁況から見た今年のカツオ來遊状況
- ・本田 修（JAFIC）QRY 情報から見た今年のカツオの漁況動向

### 第2回：道東サンマの漁況・流通動向をさぐる

と き：2009年6月24日 参加者：49人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・中園博雄（JAFIC）サンマ高精度海況日報からみた今年の日東海況の特徴
- ・小林 喬（元釧路水試）サンマの漁獲変動からみた來遊動向
- ・高橋祐一郎（農林水産政策研究所）近年におけるサンマの流通と消費動向

### 第3回：イワシと気候変動・漁業の未来を考える

と き：2009年7月1日 参加者：32人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・川崎 健（東北大学名誉教授）イワシと気候変動・漁業の未来を考える

### 第4回：スルメイカの資源から流通・消費までの課題をさぐる

と き：2009年8月5日 参加者：50人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・緑川 聡（JAFIC）スルメイカ漁業における生産・流通・消費の問題点
- ・渡邊一功（JAFIC）JAFIC 漁海況情報からみた今年のスルメイカの漁況動向
- ・木所英昭（日本海区水研）スルメイカの生態と來遊予測上の研究課題

### 第5回：マグロ漁場の形成機構解明に向けて

と き：2009年12月17日 参加者：50人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・緑川 聡（JAFIC）沿岸・近海まぐろ漁業の概況
- ・友定 彰（JAFIC）北西部太平洋におけるマグロはえなわ操業と海面高度分布
- ・細萱安彦（JAFIC）北西部太平洋におけるメバチ漁場の形成と鉛直水温分布
- ・為石日出生（JAFIC）日本海能登定置網に入網するクロマグロの海況条件
- ・矢野泰隆（JAFIC）海況日報からみた日本海のマグロ漁場

## 第6回：2009年カツオ漁況をふりかえる

と き：2010年1月10日 参加者：20人

ところ：高知県黒潮町佐賀総合支所3階会議室

報告者：細窪 迅 (JAFIC) ・二平 章 (JAFIC) ・榊純一郎 (鹿児島水試) ・溝口幸一郎 (宮崎水試) ・菊池隆展 (愛媛水研セ) ・山中順 (高知水試) ・堀井善弘 (東京八丈) ・石井光廣 (千葉水研セ) ・竹内淳一 (和歌山水試) ・山下秀幸 (水産総合研究センター)

演題：

(1) 2009年のカツオの漁況動向等に関する情報交換 (各機関・JAFIC)

(2) 新たな漁業情報サービス配信システム計画の紹介 (JAFIC)

①海洋ナビゲータ「エビスくん」 (自動水温収録・送信機能)

各県調査船に無料で搭載予定。希望聴取。

②日本周辺携帯水温情報サービス

③NOAAから変わる新たな水温衛星情報 GCOMについて

④新たな魚種別カツオ漁海況情報の発行について

## 第7回：「初カツオ」の漁況動向をさぐる

と き：2010年4月12日(月) 参加者：70人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・稲掛伝三 (中央水研) 中南洋から日本近海における海況の特徴
- ・御所豊穂 (和歌山水試) 和歌山県におけるカツオひき縄漁の動向
- ・堀井善弘 (東京八丈) 八丈島周辺海域におけるカツオひき縄の漁獲状況
- ・東 明浩 (宮崎水試) 中南洋海域におけるカツオ竿釣りの漁況動向
- ・石井光廣 (千葉水研セ) 房州勝浦港におけるカツオの魚体組成

## 第8回：マサバ資源は回復に向かうのか、2007・2009年級群をめぐって

と き：2010年6月4日(金) 参加者：65人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・山口閑常 (JAFIC) マサバ太平洋系群の資源動向
- ・篠田和宏 (JAFIC) 近年におけるサバの銘柄別生産量と仕向け動向
- ・小沢竜太 (茨城水試) 越冬群量指数からみた2007・2009年級群の評価
- ・川島時英 (千葉水研セ) 伊豆近海におけるマサバ産卵群の漁場形成
- ・岡部 久 (神奈川水技セ) 生態学的視点からみた近年のマサバ資源

## 第9回：スルメイカの漁況動向をさぐる

と き：2010年7月30日(金) 参加者：48人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・渡邊一功 (JAFIC) 今期スルメイカの漁況経過と特徴
- ・木所英昭 (日本海区水研) 日本周辺におけるスルメイカの資源動向
- ・四方崇文 (石川水総セ) 日本海におけるスルメイカの漁況動向
- ・後藤友明 (岩手水技セ) 岩手県沖スルメイカの来遊と漁獲変動

### **第10回：マイワシは増えただすのか**

と き：2010年12月20日(金) 参加者：38人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・長谷川雅俊（静岡水技研）2008年級群を契機としたマイワシの資源動向
- ・海老沢良忠（茨城水試）房総から三陸におけるマイワシの出現動向
- ・西田 宏（中央水研）近年におけるマイワシの加入動向
- ・友定 彰（JAFIC）日本周辺における海水温の長期変化

### **第11回：カツオ・ビンナガ漁の動向をさぐる**

と き：2011年4月8日(金) 参加者：72人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・八塚明彦（全近かつ協会）東日本大震災と近海かつお・まぐろ漁業
- ・細井哲男（日本鯉節協会）カツオ節の流通と原魚問題
- ・堀井善弘（東京都島しょ農林水産セ）八丈島周辺ひき縄カツオ漁の動向
- ・増田 傑（静岡県水技研）遠洋竿釣りの漁況動向
- ・石井光廣（千葉県水総研セ）今期カツオの体長組成と近海竿釣りの漁況動向
- ・本田 修・細窪 迅（JAFIC）春夏季の竿つりビンナガ動向をさぐる

### **第12回：東日本大震災と三陸の水産加工業**

と き：2011年6月27日(金) 参加者：53人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・緑川 聡（JAFIC）三陸の水揚物シェアと加工流通在庫
- ・小川征英（中央魚類）三陸の津波被害と消費地市場への影響
- ・石井 元（JAFIC）加工業界の被災状況と復興への課題

### **第13回：新たな衛星情報利用とサンマの来遊動向**

と き：2011年8月19日(金) 参加者：59人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・松井 快（宇宙航空研究開発機構）水産業と衛星観測のこれから
- ・山梨旭暉（JAFIC）衛星情報を利用した海況日報の技術開発
- ・中園博雄（JAFIC）道東サンマ漁業における衛星情報の利用
- ・渡辺一功（JAFIC）今年のサンマの来遊動向と海洋環境

### **第14回：マサバ・ゴマサバの漁獲動向をさぐる**

と き：2011年12月2日(金) 参加者：37人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・松尾 豊（JAFIC）近年5カ年のサバ類年級群の評価
- ・川島時英（千葉県水総研セ）伊豆近海の産卵場を中心としたサバ類資源の動向
- ・金光 究（茨城県水産試験場）三陸・常磐海域におけるサバ類の来遊動向

- ・吉田 彰（静岡県水技研）伊豆諸島・駿河湾周辺におけるゴマサバの生態と漁獲動向

### 第15回：今年のカツオ・ビンナガ漁の動向をさぐる

と き：2012年4月18日(水) 参加者：38人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・八塚明彦（全国近海かつお・まぐろ漁協）WCPFC第8回年次会合（グアム、3月26-30日）に参加して
- ・嘉山定晃（長井水産）日本近海来遊群と熱帯域のカツオの関係について
- ・増田 傑（静岡県水技研）遠洋竿釣りの漁況動向
- ・堀井善弘（東京都島しょ水産センター八丈）日本周辺ひき縄カツオ漁の動向
- ・石井光廣（千葉県水産総合研究センター）春期カツオの体長組成と漁況動向
- ・稲掛伝三（中央水産研究所）海洋環境変動からみたカツオの来遊
- ・本田 修（JAFIC）今年の竿つりビンナガ漁の動向をさぐる

### 第16回：増加傾向のマイワシをどうみるか

と き：2012年7月6日(金) 参加者：53人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・川崎 健（東北大学名誉教授）マイワシ大変動の謎にせまる：レジームシフトはなぜ起きるのか
- ・長谷川淳（千葉県水産総合センター房総・銚子近海のイワシ類の漁況動向
- ・海老沢良忠（茨城県水産試験場）常磐・三陸のイワシ類の漁況と海洋環境
- ・川端 淳（中央水研）沖合分布からみた近年のマイワシ加入動向

### 第17回：カツオの生態と漁況動向をさぐる

と き：2013年1月27日(金) 参加者：25人

ところ：高知市「高知会館」

報告者と演題：

- ・田ノ本明彦（高知県水産試験場）近年における高知県カツオひき縄漁の動向
- ・武田保幸（和歌山県水産試験場）近年の紀州ケンケン漁の漁況動向（資料参加）
- ・堀井善弘（東京都島しょ農林水産総合センター八丈事業所）今春期におけるひき縄漁の漁獲動向 八丈島ひき縄漁の漁獲動向と標識カツオの移動（資料参加）
- ・東 明浩（宮崎県水産試験場）近年のカツオ竿釣り漁況の特徴と問題点（資料参加）
- ・菊池隆展（愛媛県水産センター）19トン型カツオ船の漁況動向と南西・五島漁場の可能性
- ・嘉山定晃（長井水産）日本近海来遊カツオは熱帯産卵群にどの程度寄与するか
- ・二平 章（JAFIC）熱帯まき網漁場のカツオ小型魚の回遊と漁獲割合
- ・高橋浩二（JAFIC）しずく衛星を用いた新たな衛星画像の配信

### 第18回：今期カツオ漁の動向をさぐる

と き：2013年4月26日(金) 参加者：40人

ところ：豊海センタービル2階会議室

報告者と演題：

- ・緑川 聡 (JAFIC) 今春期におけるカツオの水揚げ状況
- ・本田 修 (JAFIC) 紀州沖のはえなわ漁からみた今期ビンナガ漁の動向
- ・東 明浩 (宮崎県水産試験場) 南西諸島を中心としたカツオ竿釣りの漁況動向
- ・堀井善弘 (東京都島しょ農林水産総合センター八丈事業所) 今春期におけるひき縄漁の漁獲動向
- ・稲掛伝三 (中央水産研究所) 海面水温変動から推定した東北海域のカツオの来遊豊度
- ・芦田拓士 (国際水産資源研究所) 初期成長の海域間差から想定されるカツオのふ化海域
- ・八塚明彦 (全国近海かつお・まぐろ漁業協会) WCPFCにおける熱帯域の漁獲規制議論

### 第19回：産地情報と販売促進をどうむすびつけるか (静岡県産魚の流通促進対策に取り組んで)

と き：2013年6月21日(金) 参加者：30人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・山本浩一 (静岡県定置漁業協会) 産地情報と販売促進をどうむすびつけるか

### 第20回：衛星情報の実利用と漁海況

と き：2013年7月12日(金) 参加者：22人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・松村皐月 (水産総合研究センターフェロー) JAXA の東南アジア衛星実利用推進計画—スリランカでのマグロ漁海況予報—
- ・安藤朗彦 (福岡県水産海洋技術センター) 衛星画像解析からみた玄界灘の漁場形成におよぼす対馬暖流の影響

### 第21回：サケ資源の動向と流通情勢をさぐる

と き：2013年9月6日(金) 参加者：31人

ところ：豊海センタービル2階会議室

報告者と演題：

- ・細窪 迅 (JAFIC) 今年スタートした「国産水産物流通促進事業」について
- ・清水幾太郎 ((独)中央水研) 近年の秋サケ資源の変化をどうみるか
- ・高旨秀喜 (中央魚類) 築地市場からみたサケの流通価格動向

### 第22回：熱帯から亜熱帯海域におけるカツオの年令別回遊生態

と き：2013年9月6日(金) 参加者：43人

ところ：豊海センタービル2階会議室

報告者と演題：

- ・田中 有 (元・東北水研焼津支所 遠洋水産研究所) ①焼津市場調査からみた日本カツオ漁業の変遷, ②熱帯から亜熱帯海域におけるカツオの年令別回遊生態

### 第23回：カツオの漁況動向をさぐる

と き：2014年1月11日(土) 参加者：35人

ところ：高知市「高知会館」

報告者と演題：

- ・ 緑川 聡 (JAFIC) 水揚げ状況からみた昨年のカツオ漁況
- ・ 田ノ本明彦 (高知水試) 高知県カツオひき縄漁の動向
- ・ 武田保幸 (和歌山水試) 紀州ケンケン漁の漁況動向 (資料参加)
- ・ 堀井善弘 (東京島しょ水産センター) 八丈島ひき縄漁の漁獲動向 (資料参加)
- ・ 東 明浩 (宮崎水試) 昨年のカツオ竿釣り漁況の特徴
- ・ 嘉山定晃 (長井水産) 日本近海来遊群と熱帯産卵群との関係
- ・ 二平 章 (JAFIC) 熱帯まき網漁場をめぐる WCPFC の動向
- ・ 中園博雄 (JAFIC) 「エビスくん」について

#### 第24回：カツオの漁況動向をさぐる

と き：2014年1月25日(土) 参加者：60人

ところ：日南市「めいつ漁民センター」

報告者と演題：

- ・ 中園博雄 (JAFIC) 全天候型水温情報 (AMSR2) を加えた衛星画像配信
- ・ 緑川 聡 (JAFIC) 水揚げ状況からみた昨年のカツオ漁況
- ・ 東 明浩 (宮崎水試) カツオ竿釣りの漁況動向と昨年の特徴
- ・ 嘉山定晃 (長井水産) 日本近海のカツオと熱帯産卵群との関係
- ・ 二平 章 (JAFIC) 近年のカツオ漁況と WCPFC の動向

#### 第25回：カタクチイワシ資源の動向をさぐる

と き：2014年2月28日(金) 参加者：30人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・ 二平 章 (JAFIC) 1990年代以降のカタクチイワシをどうみるか
- ・ 渡邊一功 (JAFIC) 近年におけるカタクチイワシ資源の全体像
- ・ 船木 修 (神奈川県水産技術センター) 相模湾におけるカタクチイワシの来遊動向
- ・ 長谷川淳 (千葉県水産総合研究センター) 房総周辺海域におけるカタクチイワシの資源動向
- ・ 海老沢良忠 (茨城水試) 北部まき網カタクチイワシ水揚量変動と海洋環境
- ・ 八角直道 (茨城水試) カタクチイワシの鱗相からみた成長と回遊

#### 第26回：カツオの来遊動向をさぐる

と き：2014年5月2日(金) 参加者：92人

ところ：豊海センタービル

報告者と演題：

- ・ 福田 仁 (ジャーナリスト) 現場取材からみたカツオひき縄の大不漁
- ・ 堀井善弘 (東京島しょ水産センター八丈) 八丈島におけるカツオひき縄漁の漁獲動向
- ・ 杉本昌彦 (高知水試) 高知県における沿岸カツオ漁況 (資料参加)
- ・ 武田保幸 (和歌山水試) 紀州沖のカツオひき縄漁の動向 (資料参加)
- ・ 小林 豊 (千葉水産センター) 千葉県カツオひき縄漁の漁獲動向と今後の見込み
- ・ 緑川 聡 (JAFIC) 市場水揚げ動向からみた今春期のカツオ不漁

- ・東 明浩（宮崎水試）今春期の近海カツオ竿つり漁況の特徴
- ・二平 章（JAFIC）カツオの回遊生態と近年の不漁現象
- ・八塚明彦（近海かつお協会）PNG 熱帯まき網水域におけるカツオ資源低迷に関する議論
- ・小倉未基・岡本浩明（国際資源研）カツオ来遊資源量の変動要因
- ・嘉山定晃（長井水産）回遊・再生産の視点からみたカツオの研究課題
- ・渡邊一功（JAFIC）冬期のはえ縄漁からみた今年の竿釣ビンナガの動向

## 第27回：今年のカツオ漁の特徴をさぐる

と き：2014年12月10日（水） 参加者：51人

ところ：高知市「高知会館」

報告者と演題：

- ・富井直弥（JAXA）高知県における衛星情報利用 JAXA プロジェクト紹介
- ・中園博雄（JAFIC）「エビスくん」による情報配信の新機能
- ・杉本昌彦（高知水試）高知県における今年沿岸カツオ漁
- ・堀井善弘（都水試八丈）沿岸曳縄の漁獲動向と北上群の魚体変化
- ・東 浩明（宮崎水試）カツオ竿釣り漁況の経年変化と2014年の不漁
- ・二平 章（JAFIC）来遊体長群からみた今年のカツオ漁
- ・嘉山定晃（長井水産）2014年のカツオ漁の特徴
- ・清藤秀理（国際水研）①近年におけるカツオ標識放流結果，②WCPFC 科学委員会におけるカツオ資源評価結果

## 第28回：日本近海カツオ漁の動向をさぐる

と き：2015年4月23日（木） 参加者：58人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・中園博雄（JAFIC）GCOM-Cを展望したエビスくんタブレットの沿岸ひき縄利用
- ・小林慧一（和歌山水試）和歌山県における今年のカツオひき縄春漁の経過
- ・小林 豊（千葉水研センター）近年における房総・八丈近海のカツオひき縄漁の動向
- ・東 明浩（宮崎水試）今春期の近海カツオ竿釣漁況の特徴
- ・小林 豊（千葉水研センター）房州勝浦に水揚げされた近海竿釣りカツオの体長組成
- ・二平 章（JAFIC）今年のカツオ漁をどうみるか
- ・本田 修（JAFIC）冬期のはえ縄漁からみた今年の竿釣ビンナガの動向

## 第29回：公海サンマをめぐる動きと漁期後半のサンマ漁の見通し

と き：2015年9月17日（木） 参加者：60人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・二平 章（JAFIC）公海サンマをめぐる諸外国の動き(趣旨説明にかえて)
- ・阿保純一（水研センター）公海サンマのロシアへの洋上輸出に取り組んで
- ・田中健吾（水産庁）公海サンマとNPFC（北太平洋漁業委員会）の動き
- ・渡邊一功（JAFIC）9月下旬以降におけるサンマ漁の見通し

### 第30回：今年のカツオ漁をふり返る in 高知

と き：2015年12月15日（火） 参加者：44人

ところ：高知市 高知会館

報告者と演題：

- ・黒坂浩平・溝口弘泰（水研センター）第5萬漁丸の操業試験結果について
- ・中園博雄（JAFIC）「エビスくん」を使ったリアルタイム水温情報配信
- ・菊池隆展（愛媛農林水研）・東 明浩（宮崎水試）西日本のかつお竿釣漁業
- ・神谷 崇（水産庁）WCPFCにおけるカツオ・マグロをめぐる議論
- ・嘉山定晃（長井水産）2015年上半期におけるカツオ価格の動向
- ・小林慧一（和歌山水試）2015年の全国カツオひき縄漁況の特徴
- ・杉本昌彦（高知水試）最近の知見に基づくカツオの北上について
- ・二平 章（JAFIC）2015年のカツオ漁からなにをよみとるか

### 第31回：今年のカツオ漁をふりかえる in 宮崎

と き：2015年12月21日（月） 参加者：61人

ところ：日南市 めいつ漁民センター

報告者と演題：

- ・櫻井正輝・長谷川勝男（水研センター）第5萬漁丸の操業試験結果について
- ・平山仁斗（宮崎水試）カツオ漁場予測システムについて
- ・中園博雄（JAFIC）「エビスくん」を使ったリアルタイム水温情報配信
- ・神谷 崇（水産庁）WCPFCにおけるカツオ・マグロをめぐる議論
- ・嘉山定晃（長井水産）2015年上半期におけるカツオ価格の動向
- ・市原 肇（宮崎水試）2015年カツオ漁況と近年の動向
- ・二平 章（JAFIC）2015年のカツオ漁からなにをよみとるか

### 第32回：日本近海カツオ漁の動向をさぐる

と き：2016年4月26日（火） 参加者：50人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・小林慧一（和歌山水試）和歌山県における2016年のカツオひき縄春漁の経過と特徴
- ・東 明浩（宮崎水試）今春期の近海カツオ竿釣漁況の特徴
- ・嘉山定晃（長井水産）2015年上半期におけるカツオ価格の動向
- ・高口俊之・緑川 聡（JAFIC）今春期の関東近海のカツオ漁況について
- ・石田孝行（静岡水試）・小林 豊（千葉水研セ）資料参加
- ・本田 修（JAFIC）冬期のはえ縄漁からみた今年の竿釣ビンナガの動向
- ・谷津明彦（JAFIC）これまでのJAFICカツオ研究会等による論点整理
- ・嘉山定晃（長井水産）論点整理へのコメント（特に成長について）
- ・参加者各位 論点整理へのコメント（日本への来遊群の起源などについて）

### 第33回：サンマ資源の動向をさぐる

と き：2016年8月25日（木） 参加者：47人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室



報告者と演題：

- ・谷津明彦（JAFIC）趣旨説明と黒潮親潮域のあらまし（漁海況予報の視点から）
- ・木所英昭・巢山 哲（東北水研）2016年のサンマ資源量直接推定調査結果について
- ・矢吹 崇（JAFIC）最近の北西太平洋の海況経過
- ・渡邊一功（JAFIC）公海を含む本年のサンマの漁況経過と今後の来遊予測

### 第34回：日本近海カツオ漁の動向をさぐる

と き：2017年4月28日（金） 参加者：68人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・東 明浩（宮崎水試）近海カツオ一本釣船の春期の漁況と予測手法の再検討について
- ・小林慧一（和歌山水試）和歌山県における2017年のカツオひき縄春漁の経過と特徴
- ・高口俊之（JAFIC）今春期のカツオ漁況について
- ・緑川 聡（JAFIC）今春期のカツオ市況等について
- ・本田 修（JAFIC）冬・春期のはえ縄漁からみた2017年秋季の竿釣ビンナガ
- ・谷津明彦・本田 修（JAFIC）第32回JAFIC研究会（カツオ）等の論点整理のフォロー（特に成長と次年の来遊予測）

資料参加：杉本昌彦（高知水試）・大畑 聡（千葉水研セ）・上原陽平（静岡水試）・西田 宏（国際水研）

### 第35回：人工衛星情報の漁場予測現場への活用と将来展望～為石前専務理事退任記念～

と き：2017年7月28日（金） 参加者：100人

ところ：豊海センタービル 2F 会議室

報告者と演題：

- ・為石日出生（JAFIC）人工衛星情報を活用した漁場予測の研究と実用化を振り返って
- ・杉本隆成（東京大学名誉教授）水産海洋研究における漁場形成・漁場予測の意義と今後の展望

### 第36回：サンマ資源の動向をさぐる

と き：2017年8月25日（金） 参加者：44人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・谷津明彦（JAFIC）趣旨説明とサンマ資源の概要および海洋環境と漁獲の影響
- ・木所英昭・巢山 哲・富士泰期・宮本洋臣・納谷美也子（東北水研）2017年漁期前のサンマの資源量と分布状況について
- ・矢吹 崇（JAFIC）最近の東北～道東沖合域の海況経過と予測
- ・渡邊一功（JAFIC）公海を含む本年のサンマの漁況経過と今後の来遊予測

### 第37回：我が国水産業における食文化ならびに流通・消費情報の重要性を語る

と き：2018年4月27日（金） 参加者：64人

ところ：豊海センタービル 2F 会議室

報告者と演題：

- ・鷲尾圭司（（研）水産研究・教育機構理事 水産大学校代表） 食文化に果たす水産業の役割と将来展望—サカナ場放浪記—
- ・石井 元（（一財）東京水産振興会（豊海おさかなミュージアム担当）特別研究員，前 JAFIC 参事） JAFIC 流通・消費情報の過去・現在・未来—田舎者一代記—

### 第38回：今年はどうなる？サンマ資源

と き：2018年8月24日（金） 参加者：33人

ところ：漁業情報サービスセンター会議室

報告者と演題：

- ・谷津明彦（JAFIC）趣旨説明とサンマの来遊量と栄養状態・魚体サイズの関係
- ・富士泰期・巢山 哲・宮本洋臣・阿保純一・岩崎俊秀・納谷美也子・橋本 緑（国際水研・東北水研）2018年漁期前のサンマの資源量と分布状況について
- ・矢吹 崇（JAFIC）最近の東北～道東沖合域の海況経過と予測
- ・渡邊一功（JAFIC）公海を含む今年のサンマの漁況経過と今後の来遊予測